

会計名	歳 入	歳 出	差引残額
国民健康保険	111億4,360	107億1,933	4億2,427
後期高齢者医療	19億2,592	19億2,408	184
介護保険	99億5,363	96億7,416	2億7,947
公設地方卸売市場事業	6,363	6,224	139
農業集落排水等污水处理事業	14億9,652	14億5,598	4,054
合 計	245億8,330	238億3,579	7億4,751

市の会計には、一般会計とは別に、特定の収入で特定の支出を賄う「特別会計」があります。

五つの特別会計の決算

特別会計

この特別会計は、事業の収支を明確にするため、それぞれで会計で決算が行われています。

国民健康保険

加入者が納める国民健康保険税や国・県からの交付金などを主な財源として、医療給付や各種保健事業を実施。平成28年度の被保険者は2万1850人で、前年度と比較して791人（3.5%）減少しました。

市が支払う保険給付費は64億1647万円で前年度と比較して1億5905万円（2.4%）減少しました。

後期高齢者医療

後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種の申請や届け出の受け付け、保険料の徴収などを行いました(事務は、運営主体である岩手県後期高齢者医療広域連合と分担しています)。

平成28年度の被保険者は1万7216人で、前年度

 介護保険

と比較して208人(1.2%)増加しました。

市が支払う医療給付費相当額は9億6627万円、前年度と比較して785万円(0.8%)増加しました。

 介護保険

介護保険料や国・県・市の負担金などを主な財源として、介護給付や介護予防事業を実施しました。

平成28年度末の65歳以上の高齢者は3万1819人、本市の人口に占める割合は32.7割となり、前年度と比較して0.6ポイント上昇しています。

6
4
1
5
人のうち、
5
6
1
7

人(87・6パーセント)が介護サービスを利用しました。

市が支払う保険給付費は93億2384万円で、前年度と比較して3363万円(0・4パーセント)増加しました。

公設地方卸売市場事業

施設使用料や売上高に
応じた使用料を主な財源とし

農業集落排水等污水处理
事業

農業集落排水施設使用料を主な財源として維持管理を行い、また、国・県の補助金を主な財源として汚水処理施設の整備を行いました。

事業

農業集落排水施設は、平成4年度から平成22年度まで整備を実施。花巻地域7地区、大迫地域1地区、石鳥谷地域5地区、東和地域1地区の全ての地区で整備が完了し、供用しています。

進に努めた結果、水洗化率は、85・0%となりました。

公共下水道や農業集落排水の集合処理区域を除く地域では、戸別浄化槽を72基設置するなど、それぞれの区域に即した汚水処理方法で水洗化を促進しました。

公営企業会計

下水道事業

下水道使用料を主な財源として維持管理を行い、また、国補助金などを主な財源として下水道施設の整備を行いました。

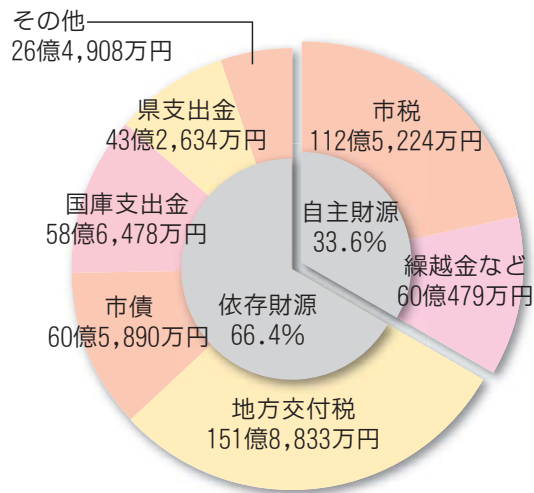
平成28年度は、高松地区や八幡地区など8地区で排水管の布設工事を行い、下水道整備区域を拡大。その結果、計画面積に対しての整備率は67.2^{パーセント}となりました。また、下水道整備を終えた区域内で水洗化の促進に努めた結果、水洗化率は83.3^{パーセント}となりました。

【下水道事業会計決算の状況】

項 目		28年度 (単位:万円)
収益の 収支 (税抜き)	収入	23億1,472
	支出	23億2,249
	損失	777
資本の 収支 (税込み)	収入	15億4,327
	支出	25億 901
	不足分(※)	9億6,574

※当年度分の留保資金などから補てん

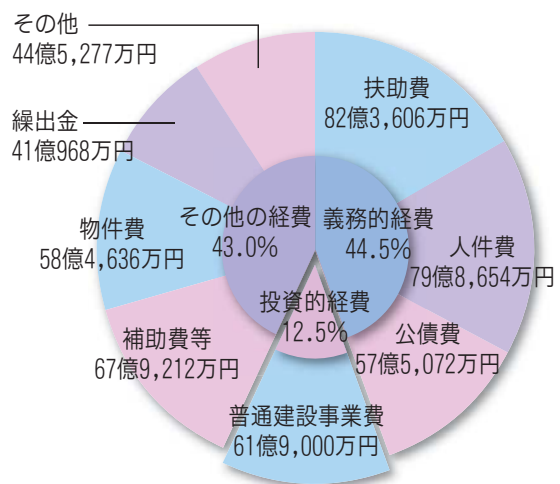
歳入 513億4,446万円



用語解説(歳入関係)

▶ **自主財源・依存財源**／市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「**自主財源**」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「**依存財源**」▶ **地方交付税**／市の財政力に応じて、国から交付されるお金▶ **国庫支出金・県支出金**／事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶ **市債**／事業を行うために、市が国や金融機関から借りのお金

歳出 493億6,425万円



用語解説(歳出関係)

▶**義務的経費**／人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶**投資的経費**／道路や学校など、将来に残るものに対する経費▶**扶助費**／社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶**公債費**／過去に借りたお金を返すための経費▶**物件費**／施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶**繰出金**／一般会計から特別会計へ支出する経費▶**補助費等**／事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費

【歳出決算額内訳】（＊性質別歳出）

項 目		28年度 (単位:万円)	構成比	増減率
義務的 経費	扶助費	82億3,606	16.7%	1.2%
	人件費	79億8,654	16.2%	2.5%
	公債費	57億5,072	11.6%	△3.0%
	元金	53億2,831	10.8%	△1.6%
	利子	4億2,241	0.8%	△17.1%
	小 計	219億7,332	44.5%	0.5%
投資的 経費	普通建設事業費	61億9,000	12.5%	26.3%
	災害復旧事業費	0	0.0%	皆減
	小 計	61億9,000	12.5%	26.3%
その他 の経費	補助費等	67億9,212	13.8%	12.0%
	物件費	58億4,636	11.8%	△6.7%
	繰出金	41億 968	8.3%	△24.7%
	積立金	17億6,345	3.6%	△1.1%
	投資及び出資貸付金	16億4,439	3.3%	△11.5%
	維持補修費	10億4,493	2.1%	△3.6%
	小 計	212億 93	43.0%	△5.8%
	合 計	493億6,425	100.0%	0.2%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致していません

*性質別歳出

歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は、農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は、人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。